

「九州派資料集発刊のための再調査」

山口洋三

調査期間：平成22年4月～23年3月

九州派は、1950年代後半(昭和30年代前半)に福岡市で誕生した前衛美術集団であり、同市を拠点に約15年にわたり活動した。1988(昭和63)年に福岡市美術館において初めて回顧展がなされ、残存作品とともに詳細な活動歴を明らかにした図録も刊行された。その折、九州派記録集の発刊が計画されたものの、未だ実現していない。しかし近年さまざまな角度から九州派への注目が集まっており、資料集という形での情報発信が求められている。本研究は、将来刊行予定の九州派資料集編集のためのものである。1988年の九州派展図録の活動歴を補完するための文献再調査を行い、これらをデータベース化した。そして存命の元・九州派作家にあらためてインタビューを行い、それをすべて書きおこして文字媒体に置き換えた。これは、「九州派」という集団がそもそも持っていた多様性を明らかにするためである。作家ひとりひとりに詳細にインタビューして、作家個々人の動向や考えを明らかにすることができた。このインタビュー資料は、個人よりもグループ活動の動向や、主要作家の活動に比重を置きがちだった従来の前衛美術研究を補完、更新する側面を持つ。そして、地方都市としては活発な美術活動がおこなわれている福岡における、その歴史的原点の全貌を明らかにすることが期待されるのである。

※本調査は、平成22年度ポーラ美術振興財団による研究助成によった。

「ラファエル・コラン旧蔵極東美術コレクションにまつわる基礎的調査」

三谷理華

調査期間：平成22年7月11日～31日

平成23年1月20日～2月9日

調査先：フランス国立図書館(パリ市)、サント＝ジュヌヴィエーヴ図書館(パリ市)、INHA図書館(パリ市)、個人宅

本調査では、フランス人画家ラファエル・コラン(1850-1916)旧蔵の極東美術コレクションの一部を調査し、その基本データの集積や目録化を行い、今後展開される研究の基礎構築を行うことを目指した。より具体的には、所蔵先において各資料の個別データを採取していく一方で、フランスの主要図書館でそれらを評価するために有効と思われる文献資料を探索した。大まかには初期の目的には達したため、今後詳細な詰めを行っていくとともに、得られたデータに考察を加え、研究を展開させていきたいと考える。

初期狩野派の水墨花鳥図の展開についてー伝統と革新ー

渡邊雄二

研究の概要

聚光院方丈室中ノ間水墨花鳥図(以下、聚光院本花鳥図)は永禄9年(1566)狩野永徳の24歳の作として、彼の早熟な天才をいかに発揮した桃山時代のさきがけとなる絵画と位置づけられてきた。しかし、この水墨花鳥図の画面いっぱいに描かれた大振りのモチーフとその構成、描写の特殊性、新規性については述べられることは多いが、それらを先行の作品と比較して考察することはまれであったと思う。

聚光院本花鳥図に関連する作例、たとえば狩野元信筆水墨花鳥図屏風や元信印水墨花鳥図屏風など初期狩野派の作例と思われる大画面の水墨花鳥図などを丁寧に見ていくことによって、初期狩野派が伝統的なモチーフの形態や描写を取り入れて、大画面の上にそれらを構築していく傾向が見えるのではないかと考えた。

これまでこうした絵画の描写に狩野元信や狩野永徳、あるいは松栄などといった個性を見出して、画人を特定しようとするのが、研究の最大関心事のように思われていたが、それら作品の作者を初期狩野派の中心的人物を含んだ大きな画家集団としてとらえながら、表現の上で関連しているいわゆる行体の水墨花鳥図、とくに屏風、襖絵などの大画面の作例に注目して、それらが聚光院本花鳥図に展開していく様相が見えればと考えた。

調査の結果

作品群の検討から聚光院本花鳥図の特性を再確認した。

- ・ 個々のモチーフの形態はほとんど先例があり、それらを組み合わせて構成している。しかし、元信筆花鳥図屏風下絵の構成による屏風などとは関係なく、永徳独自の構成といえよう。
- ・ モチーフの先例は狩野正信のほか中国絵画からの筆様受容によるものがその祖形になっているように思われるが、その候補、制作の経緯についてはさらに検討が必要である。ただし、これまでのように狩野派内での影響のみを考察するのではなく、阿弥派(祥啓一派をふくむ)の画家や雪舟系の画家の作例も視野に入れて検討すべきと考える。
- ・ いくつかの元信印花鳥図屏風の描写は聚光院の描写に近い作例があり、元信から永徳への画風展開を示しているように思われる。それらは優れた作例ではあるが、元信あるいは永徳の手になると確定することは難しい。元信によって行体の水墨花鳥図の描写とその屏風の構図(元信印花鳥図屏風)が示され、その周辺の画家により、バリエーションを加えられ複数例作られたのであろう。こうした大画面の水墨花鳥図の制作が聚光院本花鳥図を生み出したと思われる。

こうしたことから以上掲げた伝統性のみでは語れない聚光院本花鳥図の特性も明らかになってきたといえよう。

- ・ 画面構成は東、北、西の三面を画面とした立体的な三次元の構成である。各面においては近景にモチーフが集中して立体感が少ないように見えるが、これを部屋の中に視点を置いて眺めると全画面の中において近景と思われたモチーフが場所によって中景であったりする。こうした三次元的構成を永徳は綿密に聚光院方丈室中ノ間を実現したのである。さらに室中ノ間の内側の仏間の下段襖絵は狩野松栄の水墨花鳥図であるが、北面の開山像前の二面の襖を開けるとそれらが現れる。北面の鷺が仏間の描写に近く、仏間の同主題の絵と関連性があるのかもしれない。
- ・ 構成はそうした奥行き関係だけでなく、松の樹木の曲線の形態と鶴の姿との対応、雁同士の呼応とその周囲の草類のなびき方が同方向であるなど、実に綿密に平面上においても幾何学的に関連性づけてモチーフを配している。そのために画面にはりつめた緊張感が漂う。関連づけられたモチーフとその間にある空間など計算しつくされた観がある。
- ・ これらモチーフの形態は先行する元信あるいは元信印花鳥図のモチーフを踏襲しているが、その数を絞り個々のモチーフを大きくしているようだ。
- ・ 画面に現実感あるいはそれ以上の迫力を持って表現されるのは、松や梅などの大樹であろう。しかし、これらの描写も大仙院や靈雲院といった元信の先行作例によるものと考えられ、さらに雪舟の花鳥図屏風の影響も無視し得ない。

宗秀、光信、孝信といった永徳の後継者たちは、以後の大画面花鳥図において、完全に水墨のみで表現することは稀で、着色による金地を用いた花鳥図を中心に描いていった。

こうしたことから聚光院方丈花鳥図は水墨表現による初期狩野派の大画面花鳥画の行き着いた表現でもあったのではないかと考える。桃山時代においては、狩野派以外の長谷川等伯、海北友松、雲谷等顔、また、関東の雪村周継らが水墨表現による花鳥図を描いたが、そこでは狩野永徳が聚光院で結実させた伝統的なモチーフは影を潜めたといえよう。

研究の課題

今回の調査は聚光院方丈室中ノ間障壁画の位置づけを考える上で、また、初期狩野派の大画面花鳥図を考える上で重要な作業であったと思われる。先述したように調査しえない作品があり、その全体像、あるいは元信の画体について確信しえない点もあるが、各作品の作者を性急に設定するよりも、その展開の様相を下絵の存在や描写自体から推察することが良いのではないだろうか。また、元信印水墨花鳥図屏風は元信の周辺にその意志を継ぐすぐれた複数の絵師がいたことを推察させる。

聚光院本花鳥図の永徳の個性、描写については近年永徳作と認められるようになった福岡市博物館本二十四孝図屏風のなかにも近似した形態や描写のモチーフがある。これは松栄の花鳥図屏風についても松栄の二十四孝図屏風(洛東遺宝館、岩村家本)などとも表現の共通性を見出し、画面全体の主題とは別に水墨表現のパーツとしてのモチーフの役割を広げて考えることも必要かと思われる。

逆に同じ主題として水墨(行体)の花鳥図だけでなく元信以降の着色(楷体)の花鳥図もあわせて考察すべきであったが、着色画については元信の作例も限られており、水墨花鳥図のように展開を追うことが難しいことから、今回は水墨の描写の系譜を中心に考えた。このことにより初期狩野派の画風の展開の連続性がわかり、聚光院本花鳥図が孤立した作品でないことが理解できた。しかし、楷体花鳥図屏風にも輦隠印を捺す作例や松栄の作には花鳥図屏風下絵と同様の構成をもつものがあり、今後は同じ水墨の表現の別主題の絵画あるいは楷体着色の花鳥図など広く関連の作品を位置づけていくことを課題の一つとしたい。

また、聚光院方丈の室中ノ間以外の部屋の障壁画についてもモチーフ、描写について検討し、その成立について先例との関係を追うことが出来ると聚光院方丈全体として永徳および松栄の画業が初期狩野派の画業全体の中で正確に位置づけられるのではないかと考え、さらに関連作品の調査をすべきであろうと考える。

※本調査研究は、平成 22 年度美術館連絡協議会研究助成の成果である。

美術資料

■美術資料収集体数一覧

近現代美術			古美術			総計
購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	
1点	30点	31点	3点	27点	30点	

■近現代美術

購 入

郷土作家 油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法（cm）	素材・技法	備品受入番号
1-A-558	川上省三	（題不詳）	不詳	76.4×51.3	油彩、ペン・紙	42200365

寄 贈

郷土作家 油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法（cm）	素材・技法	備品受入番号
1-A-585	川原田 徹	わんぱく迷路	1990	97.3×145.5	油彩、テンペラ・板	42211973
1-A-586	椎野 修	野田好子像	1937頃	31.0×26.3	油彩・厚紙	42211974
1-A-588	田部光子	プラカード	1961	86.5×93.2	印刷物、真鍮、口紅、墨、 塗料、ニス・紙（襖）	42211975
1-A-589	田部光子	ああ！寺山修司	1966	72.5×90.8	アクリル、印刷物・画布	42211976
1-A-590	田部光子	Sign Language	1996-2010	129.7×119.8×6.5	油彩、石膏、金箔、印刷物・板	42211977
1-A-591	馬場武尚	乾いた海 B	1974	162.0×130.6	油彩・画布	42211978
1-A-592	藤山貴司	流出する子供達・目なしうさぎの行進	1999	190.2×375.0	油彩・画布	42211979
1-A-593	山内重太郎	太陽と人	1958	91.0×73.0	銅板、アスファルト、石膏・板	42211981
1-A-594	山田依子	土（アーダーマ）	2010	259.0×181.5	油彩、麻布、綿布、和紙、紙紐・画布	42211982
1-A-606	和田千秋	歩きたい（「障碍の美術IX-ハネがほしい」より）	2003	91.0×72.7	靴、アクリル・画布	42211983
1-A-607	和田千秋	《ハネがほしいー白鳥》 （「障碍の美術IX-ハネがほしい」より）	2003	80.3×130.3	アクリル・画布	42211984
1-A-608	和田千秋	《ハネがほしいー蝶》 （「障碍の美術IX-ハネがほしい」より）	2003	80.3×100.0	アクリル・画布	42211985
1-A-609	和田千秋	《ハネがほしいー蝙蝠》 （「障碍の美術IX-ハネがほしい」より）	2003	80.3×130.3	アクリル・画布	42211986
1-A-610	和田千秋	《ハネがほしいー蟬》 （「障碍の美術IX-ハネがほしい」より）	2003	100.0×80.3	アクリル・画布	42211987
1-A-611	和田千秋	《ハネがほしいー蜻蛉》 （「障碍の美術IX-ハネがほしい」より）	2003	74.2×116.8	アクリル・画布	42211988
1-A-612	和田千秋	《ハネがほしいー蛾》 （「障碍の美術IX-ハネがほしい」より）	2003	74.2×116.8	アクリル・画布	42211989
1-A-613	和田千秋	《ハネがほしいー旅人の神（メルクリウス）》 （「障碍の美術IX-ハネがほしい」より）	2003	91.0×72.7	アクリル・画布	42211991
1-A-614	和田千秋	《ハネがほしいー天使》 （「障碍の美術IX-ハネがほしい」より）	2003	53.0×65.1	アクリル・画布	42211992
1-A-615	和田千秋	《母と子》（「障碍の美術IX-ハネがほしい」より）	2003	112.2×145.5	アクリル・画布	42211993

郷土作家 彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法（cm）	素材・技法	備品受入番号
1-G-65	山内重太郎	原型	1960	19.5×25.0×24.0	石膏	42211980
1-G-66	和田千秋	《ハネがほしいーハネが生えた靴》 （「障碍の美術IX-ハネがほしい」より）	2003	高さ16.0	補装靴、紙粘土	42211990

日本作家 彫刻等

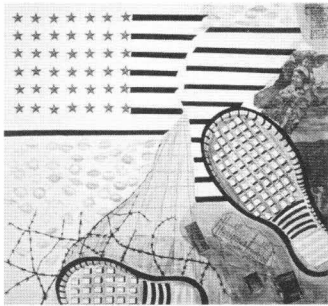
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法（cm）	素材・技法	備品受入番号
2-G-44	上前智祐	黒木の立体	1972	180.5×52.8×93.5	塗料、木	42211994

海外作家 素描

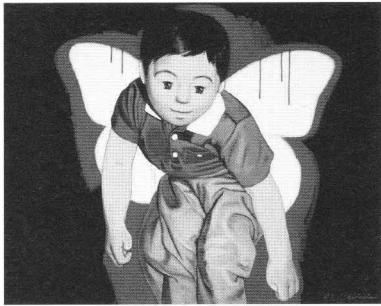
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法（cm）	素材・技法	備品受入番号
3-D-34	レオナルド・フジタ (藤田嗣治)	自画像	1928	29.0×20.6	鉛筆・紙	42211965

海外作家 版画

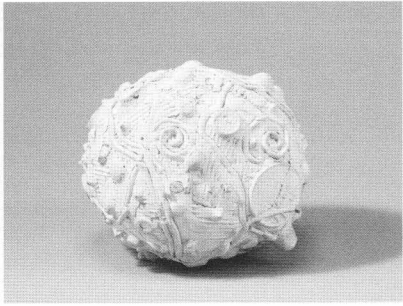
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法（cm）	素材・技法	備品受入番号
3-E-774	郭 徳俊	レーガンIIと郭	2006	53.8×39.5	シルクスクリーン・紙	42211966
3-E-775	郭 徳俊	ブッシュ（父）と郭	2010	54.0×37.9	シルクスクリーン・紙	42211967
3-E-776	郭 徳俊	クリントンと郭	2003	54.7×41.4	シルクスクリーン・紙	42211968
3-E-777	郭 徳俊	クリントン II と郭	2000	51.8×37.1	シルクスクリーン・紙	42211969
3-E-778	郭 徳俊	ブッシュ2001と郭	2002	54.0×36.2	シルクスクリーン・紙	42211970
3-E-779	郭 徳俊	ブッシュ2001（II）と郭	2005	52.5×37.0	シルクスクリーン・紙	42211971
3-E-780	郭 徳俊	オバマと郭	2009	51.7×36.7	シルクスクリーン・紙	42211972



田部光子《ブラカード》1961年▲



和田千秋《ハネがほしい—蝶—》▲
（『障碍の美術IX-ハネがほしい』より）2003年
撮影：吉住美昭



山内重太郎《原型》1960年▲

■ 古美術

購 入

一般古美術資料 絵画

所蔵品番号	作品名	作者	時代	法量（cm）	品質	備品受入番号
14-B-38	紫式部図	土佐光起	江戸時代	縦86.6 横38.3	絹本着色	42200364

一般古美術資料 陶磁器

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量（cm）	品質	備品受入番号
14-Ha-161	瓢形耳付水指	高取焼（内ヶ磯窯）	江戸時代初期	高さ16.3 口径12.0 胴径18.6 底径13.8	陶器	42200362
14-Ha-163	伊賀耳付水指	伊賀焼	江戸時代初期	高さ20.8 胴径20.9 底径19.3	陶器	42200363

寄 贈

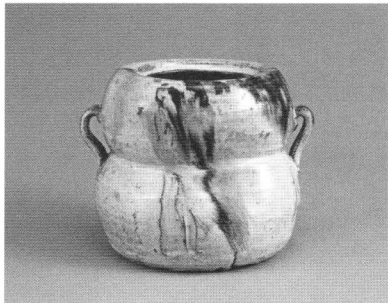
一般古美術資料 染織

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量（cm）	品質	備品受入番号
14-Hd-302	幾何学文様苗錦布団上掛け	中国・広西壮(チワン)族自治区	20世紀	182.5×112.5	木綿、絹	42205942

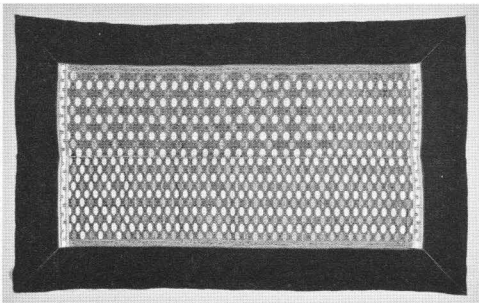
川村コレクション 彫刻等

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量（cm）	品質	備品受入番号
21-G-123	ヘーヴァジュラ曼荼羅	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦15.5 横8.2 厚さ2.0	埴仏	42205916
21-G-124	青銅製ヘーヴァジュラ曼荼羅型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦14.3 横8.2 厚さ1.4 奥行3.6	埴仏型（青銅製）	42205917
21-G-125	青銅製ヘーヴァジュラ曼荼羅型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦15.5 横8.3 厚さ0.4 奥行2.5	埴仏型（青銅製）	42205918
21-G-126	ヘーヴァジュラ曼荼羅	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦7.7 横6.7（現状） 厚さ1.1	埴仏	42205919
21-G-127	青銅製ヘーヴァジュラ曼荼羅型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦16.5 横13.3 厚さ0.9 奥行5.5	埴仏型（青銅製）	42205920

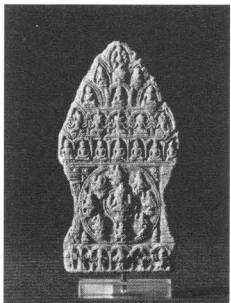
所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量（cm）	品質	備品受入番号
21-G-128	ヘーヴァジュラ曼荼羅型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦7.3 横5.7 奥行4.1	埴仏型（青銅製）	42205921
21-G-129	ヘーヴァジュラ三尊像型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦6.1 横5.5 奥行3.5	埴仏型（青銅製）	42205922
21-G-130	青銅製ヘーヴァジュラ三尊像型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦8.0 横7.0 厚さ1.0 奥行3.0	埴仏型（青銅製）	42205923
21-G-131	ガネーシャ像型	カンボジア	クメール時代 11-13世紀	縦13.5 横11.1 厚さ4.5	埴仏型（青銅製）	42205924
21-G-132	青銅製仏四尊像型	カンボジア	クメール時代 11-12世紀	縦8.3 横6.8 奥行3.4	埴仏型（青銅製）	42205925
21-G-133	青銅製仏三尊像型	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦17.0 横14.4 厚さ0.7 奥行5.8	埴仏型（青銅製）	42205926
21-G-134	青銅製仏三尊像型	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦9.2 横7.6	埴仏型（青銅製）	42205927
21-G-135	青銅製仏三尊像型	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦7.5 横6.1 厚さ0.3 奥行3.3	埴仏型（青銅製）	42205928
21-G-136	青銅製三尊像型	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦10.5 横8.4 厚さ0.5 奥行3.3	埴仏型（青銅製）	42205929
21-G-137	触地印仏陀坐像	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦16.3 横9.3 厚さ3.4	埴仏	42205930
21-G-138	触地印仏陀坐像	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦12.0(現状) 横10.0 厚さ4.0	埴仏	42205931
21-G-139	青銅製触地印仏陀坐像型	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦18.0 横9.9 厚さ3.0 奥行7.3	埴仏型（青銅製）	42205932
21-G-140	青銅製千体仏型（59軀の仏陀坐像）	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦21.2 横16.3 厚さ0.8 奥行6.1	埴仏型（青銅製）	42205933
21-G-141	青銅製千体仏板（30軀の仏陀像）	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦19.4 横17.6 厚さ0.3	青銅製鍍金	42205934
21-G-142	金銅女神立像	カンボジア	クメール時代 11-12世紀	縦21.5 台座幅5.4×5.5	青銅製鍍金	42205935
21-G-143	金銅女神立像	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦25.5 幅7.6	青銅製鍍金	42205936
21-G-144	金銅女神立像	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦13.5 幅3.7	青銅製鍍金	42205937
21-G-145	金銅女神立像	カンボジア	クメール時代 12-13世紀	縦13.0 幅4.3	青銅製鍍金	42205938
21-G-146	石造線刻ヴィシュヌ神像	カンボジア	クメール時代 14-15世紀	縦17.0 横13.4 厚さ3.7	石製	42205939
21-G-147	仏三尊像	タイ	アユタヤ時代 14-15世紀	縦5.2 横4.0 厚さ1.0	埴仏	42205940
21-G-148	真鍮製ヴィシュヌ神半跏像	タイ	ラタナコーシン時代 20世紀	縦6.0 幅3.1	真鍮製	42205941



瓢形耳付水指 高取焼 江戸時代初期 ▲



幾何学文様苗錦布団上掛け 中国 20世紀 ▲



ヘーヴァジュラ曼荼羅 ▲
カンボジア 11-13世紀

図書・映像資料

図書関係受入状況				映像資料関係受入状況		
		和書	洋書			
購入	図書	83	15	購入	ビデオ	0
	図録	4	5		レーザーディスク	0
	年報・紀要	2	0		コンパクトディスク	0
					DVD	0
寄贈	図書	79	20	寄贈	マイクロフィルム	0
	図録	524	40		ビデオ	0
	年報・紀要	268	0		レーザーディスク	0
	製本資料	0	0		コンパクトディスク	2
		雑誌	396	112	DVD	9
合計		1,356	192			0
総計			1,548	合計		11
単位(冊)				単位(点)		

美術資料の修復

■近現代美術

種別	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	数量	所蔵品番号
油彩等	多々羅義雄	房州海岸	1914	105.0×119.1	油彩・画布	1点	1-A-82
油彩等	俣野 衛	裏切りのイメージ	1957	183.0×183.7	アスファルト、ペンキ・板	1点	1-A-357
油彩等	舟木富治	ピンク・ポップ・ノミ(B)	1968	161.8×130.5	油彩、ペンキ・画布	1点	1-A-505
油彩等	山内重太郎	太陽と人	1958	91.0×73.0	銅板、アスファルト、石膏・板	1点	1-A-593

■古美術

種別	作品名	作者名	時代	法量 (cm)	品質	数量	所蔵品番号
絵画	三十六歌仙画冊	岩佐又兵衛	江戸時代初期	(各)縦 21.0 横 21.6	紙本着色	1冊 36紙	14-B-26
陶磁器	色絵鶏親子置物	有田焼 古伊万里様式	江戸時代	総高 30.3 底径 15.7	磁器	1口	14-Ha-12
陶磁器	瓢形耳付水指	高取焼(内ヶ磯窯)	江戸時代初期	高さ 16.3 口径 12.0 胴径 18.6 底径 13.8	陶器	1口	14-Ha-161
染織	蜀江文印金絞肩掛	インドネシア産	19-20世紀	経 209.7 緯 92.2(織幅)	絹	1枚	14-Hd-295

美術資料の貸出

■近現代美術

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油彩等	牛島憲之	貝焼場	1-A-23	海を想う―海に魅せられた画家たち	釧路市立美術館	平成22年6月5日―7月11日
油彩等	福田新生	能登の布晒し	1-A-179		田辺市立美術館	平成22年7月19日―9月12日
日本画	富田溪仙	沖縄三題	1-B-65		八幡浜市民ギャラリー	平成22年9月18日―10月24日
日本画	富田溪仙	沖縄三題	1-B-158		唐津市近代図書館	平成22年10月30日―12月5日
油彩等	和田三造	伊豆大島乳が崎沖より伊豆天城山及び富士を望む	7-A-58			
油彩等	古賀春江	生誕	1-A-38	古賀春江の全貌展―新しい神話が始まる。―	石橋財団石橋美術館 神奈川県立近代美術館	平成22年7月3日―9月5日 平成22年9月18日―11月23日
油彩等	マルク・シャガール	空飛ぶアトラージュ	3-A-87	シャガール―ロシア・アヴァンギャルドとの出会い	東京藝術大学大学美術館 福岡市美術館	平成22年7月3日―10月11日 平成22年10月23日―平成23年1月10日
彫刻等	ナム=ジュン・パイク	冥王星人	3-G-42	ロボットと美術 機械×身体のパジュアルイメージ	青森県立美術館 静岡県立美術館 島根県立石見美術館	平成22年7月10日―8月29日 平成22年9月18日―11月7日 平成22年11月20日―平成23年1月10日
油彩等	椎野 修	子ども達	1-A-198	ふる里への想い 椎野修絵画展	コスメイト行橋	平成22年8月1日―8月22日
油彩等	椎野 修	博多港 I	1-A-296			
油彩等	椎野 修	水車小屋の内部	1-A-417			
油彩等	サルヴァドル・ダリ	ポルト・リガトの聖母	3-A-405	ダリ：後期作品	High Museum of Art (ハイ美術館/アメリカ)	平成22年8月7日―平成23年1月9日
彫刻等	山崎朝雲	牧童	1-G-36	岡倉天心と日本彫刻会	小平市平櫛田中彫刻美術館	平成22年9月10日―10月17日
彫刻等	山崎朝雲	山崎朝雲 明の封冊(豊太閤)	1-G-38	―日本彫刻の「伝統」と「革新」	井原市立田中美術館	平成22年10月22日―12月5日
油彩等	三岸好太郎	海と射光	2-A-40	日本近代洋画と三岸好太郎 Part2	北海道立三岸好太郎美術館	平成22年9月11日―10月24日
日本画	阿部春峰	静寂	1-B-144	炭坑王の邸内を彩った画家 水上泰生と阿部春峰展	飯塚市歴史資料館	平成22年9月16日―9月27日
日本画	吉村忠夫	霊剣	1-B-83	神々のすがた―古事記と近代美術―	島根県立石見美術館	平成22年9月17日―11月7日
水彩	青木 繁	「黄泉比良坂」習作	7-C-1			
素描	青木 繁	「黄泉比良坂」習作	7-D-1			
日本画	横山大観	寒山拾得	2-B-7	横山大観	明治神宮文化館宝物展示室	平成22年10月2日―11月28日
日本画	横山大観	矢走の朝	7-B-54	―明治神宮鎮座九十年記念展―		